

平成29年度 第4回 南小学校 学校運営協議会議事録

- 1 日 時 平成 30年 3月22日 (木) 18:30 ~ 20:00
- 2 場 所 伊丹市南小学校 多目的室
- 3 出席者 協議会委員 : 若松和子会長、池田博一委員、近迫和秀委員、平山由里子委員
松村孝之委員、宮本珠代委員 (委員6名参加)
教 職 員 : 峰松誠治校長、津田康子教頭

4 内容

(1) 学校長挨拶

先日、無事に132名の卒業生を送り出すことができました。南小での学びを基礎にそれぞれの中学に進学してさらに成長することと思います。ご来賓にお越しいただいたみなさん、どうもありがとうございました。

今日は年度末の開催ですので、学校評価を中心にお話させていただきます。率直なご感想や「こうしたらどうや？」など、お気軽にご意見いただけたらありがたいです。どうぞよろしく願いいたします。

(2) 今年度の学校評価

・学校長より

- A. 学力の向上 (基礎基本の徹底と授業改善、思考力判断力表現の育成、学習意欲の向上)
- B. 豊かな心すこやかな体 (道徳教育、体力向上)
- C. 開かれた信頼される学校園 (積極的な情報発信)
- D. 安心安全な学校づくり (安全対策推進)

の各項目に基づき、具体策・達成目標、成果と課題、改善策、学校の自己評価について説明
(詳細は学校 HP の平成29年度学校評価総括表をご参照下さい)

・各委員から感想や意見

学校教育活動の一番の要である授業への取組について)

全校をあげて一体的に取り組み、教材研究や授業力改善がすすんでいるようで素晴らしい。

児童や保護者アンケートで高い評価を得ているのがすごい。

南小は、いつ訪れてもきれいに掃除が行き届いている。

今の子どもたちの状況について)

家庭学習時間の目安（低学年30分～高学年90分）や読書推進などを聞くと、下校して寝るまで忙しい生活をしなければいけない様子がうかがえ、「今の子は、大変だな。学校も親も、大変だな。」と思う。

小学生のうちには、もっと友達と遊ぶ時間家族と過ごす時間をとることが大切だと思う。

人との交流の時間から学ぶもの、子ども同士の遊びから生まれる想像力バランス感覚など、得られることは大きい。

各項目について)

読書が嫌い、という子は多い。自分もそうだった。まんべんなく高い理想を掲げるよりも、できることから始める続けたいものだ。

家庭での防災意識が低いのが気になる。地域や家庭から取り組んでいきたい。関心をもつためには「楽しさ」「遊び感覚」が必要だ。

H30年度の入学予定数は今年度よりも多く、全体児童数規模がさらに大きい学校になるとのこと。登下校における安全対策は学校のみならず、家庭でのしつけや地域の見守りもよりすすめていきたい。(学校は、一斉下校日に学年で下校時間に10分の時間差を設けるなどの工夫をされた。実効性が高く、よい改善策だったと思う。)

(3) 今年度の南小コミスク活動総括

学校運営協議会を4回開催。

コミュニティスクールについて理解を深めながら、今年度の学校教育方針に基づき忌憚のない意見交換ができた。そのことで、子どもの学校生活や学校の現状について理解がすすみ、保護者や地域の立場からの考えを共有できた。また「あいさつ運動」を中心に、協議を受けた動きが各所で見られた。

(4) 次年度の活動等について

今年度の流れをうけ、引き続きすすめていく。

委員の任期は基本2年ということで、次年度も同じメンバーで構成する。

自由プール運営など喫緊の案件も含め、具体的な協議も予定されている。

多くの方に関心を寄せていただきご協力いただけるようにしたい。

(5) 次回協議会

・4/24(火) 18時半～

・議事：H30年度コミスク活動予定、自由プールほか

以上